

部落解放研究

第44回全国集会 in 新潟

部落解放運動を大きく前進させ、
人権の法制度確立にむけた協働の取り組みをすすめよう！

◎◎ 開催要綱 ◎◎

日時 2010年11月9～11日(火～木)

会場 (全体集会) 新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」

〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1 TEL025-246-8400 FAX025-246-8411

集会規模 6,500人

参加費 4,000円(参加・資料費) ※フィールドワーク参加者は別途参加費が必要です

参加対象 ①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者企業関係者・学生など
②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員
③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

プログラム

1日目 11月9日(火)：全体集会(朱鷺メッセ)

12:00～ 受付開始

13:00～13:35 開会行事

13:40～15:10 **記念講演** 人権侵害救済法制定に向けた新たな動向～障害者権利条約と救済制度

山崎 公士(神奈川大学教授)

15:10～15:40 **地元報告** 新潟における部落差別と解放運動の課題

長谷川 均(部落解放同盟新潟県連合会書記長)

15:40～16:10 **特別報告** 土地差別調査事件の真相と今後の課題

赤井 隆史(部落解放同盟中央執行委員)

16:10～ 事務連絡

2日目 11月10日(水)：分科会、フィールドワーク

9:00～ 受付開始

9:30～16:00 分科会、フィールドワーク(※フィールドワークはコースにより時間が変わっていますのでご注意ください)

3日目 11月11日(木)：全体集会(朱鷺メッセ)

9:00～ 受付開始

9:30～10:45 **特別報告** 企業の社会的責任(CSR)の新たな動向—ISO26000の発行を控えて—

関 正雄(株損害保険ジャパン 理事 CSR統括部長)

10:45～12:00 **記念報告** 足利事件の教訓

菅家 利和(足利事件えん罪被害者)・松本恵美子(弁護士、足利事件弁護団)

主催 部落解放研究第44回全国集会中央実行委員会

中央実行委員会構成団体 一般社団法人全国人権教育研究協議会 部落解放中央共闘会議 全国大学同和教育研究協議会 社団法人部落解放・人権研究所
「同和問題」にとりくむ宗教教団連帯会議 同和問題に取り組む全国企業連絡会 部落解放同盟中央本部 地元(新潟県)実行委員会 (順不同)
地元実行委員会構成団体 新潟県同和教育研究協議会 部落解放新潟県共闘会議 連合新潟 新潟県人権・同和センター 「同和」問題に取り組む新潟県宗教教団連帯会議
新潟市、新発田市等各行政・教育委員会 部落解放同盟新潟県連合会など91機関・団体 (順不同)

参加申し込み方法

- ①各団体で参加者の集約を行っていただき、部落解放同盟各都府県連合会にお申し込み下さい。
- ②個人等、一般で参加される方もお住まいの地域の部落解放同盟各都府県連合会にお申し込み下さい。
- ③部落解放同盟各都府県連合会がない地域にお住まいの方は、部落解放同盟中央本部にお申し込み下さい。
- ④参加・資料費の振込は、部落解放同盟各都府県連合会から一括で下記の口座へお振込みをお願いします。

〈振込先〉りそな銀行 桜川支店 普通預金 0426304 部落解放同盟中央本部（全研）組坂繁之

※なお、会場周辺は駐車スペースが少ないため、参加にあたっては公共交通機関などをご利用下さい。

フィールドワークの申し込みについて

- ①フィールドワークの申込みは、別紙「宿泊＆弁当・フィールドワークのご案内」にてお申込み下さい。
- ②フィールドワークは、集会参加費とは別にフィールドワーク参加費が必要になります。
- ③フィールドワーク参加費は、佐渡コース：19,000円(宿泊費込)、新潟水俣コース：5,000円、神林村コース：5,000円です。
- ④フィールドワークは、定員に限りがありますので、申し込み多数の場合は抽選により参加できない場合がありますのでご了承下さい。

宿泊・弁当の申し込みについて

- ①宿泊については、宿泊施設が多岐にわたるため、ランク別の料金設定になります。詳しくは別紙「宿泊＆弁当・フィールドワークのご案内」をご参照下さい。
- ②宿泊の申し込みは、申し込み順に受け付けますが、部屋数に限りがありご希望に添えない場合があります。
- ③宿泊の申し込みは、別紙申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

宿泊・弁当・フィールドワークの申込み・問い合わせ先

コープ・トラベルセンター「部落解放研究第44回全国集会」係

〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6 TEL025-245-4110 FAX025-245-4177

参加割当

都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当
東 京	300	静 岡	15	和歌山	250	高 知	100
埼 玉	250	愛 知	100	大 阪	500	愛 媛	10
群 馬	220	岐 阜	80	兵 庫	450	福 岡	400
栃 木	130	三 重	150	岡 山	100	大 分	70
千 葉	60	富 山	15	広 島	150	長 崎	20
神奈川	130	石 川	15	山 口	30	佐 賀	30
山 梨	5	福 井	15	鳥 取	150	熊 本	50
長 野	200	滋 賀	250	島 根	20	宮 崎	15
新 潟	1,500	京 都	250	徳 島	100	鹿児島	15
福 島	5	奈 良	250	香 川	100	合 計	6,500

お問い合わせ

部落解放研究第44回全国集会中央実行委員会事務局

部落解放同盟中央本部 〒106-0032 東京都港区六本木3-5-11 松本治一郎記念会館内 TEL03-3586-7007 FAX03-3585-8966

部落解放・人権研究所企画・研究部 〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル(AIAIおおさか)8階 TEL06-6581-8572 FAX06-6581-8540

講師紹介

1日目全体集会(11月9日(火))

会場: 朱鷺メッセ「ウェーブマーケット(A)」

記念講演

人権侵害救済法制定に向けた新たな動向 —障害者権利条約と救済制度—

2008年に発効した障害者権利条約の批准にむけて、検討が進められていますが、その過程で、人権侵害救済制度や差別禁止法の制定についても議論されています。この動向について、障がい者制度改革推進会議の委員をつとめておられます、山崎公士先生よりご報告いただきます。

山崎 公士 (神奈川大学)

＜プロフィール＞

神奈川大学大学院法学研究科長、人権市民会議代表。国際法・国際人権法・人権政策学。『国内人権機関の国際比較』(編著、2001年)、『人権政策学のすすめ』(編著、2003年)等の著書がある。

地元報告

新潟における部落差別と解放運動の課題

新潟における部落差別の実態や、差別事件に対する地元新潟県連の闘いに学び、部落解放運動の課題を検討します。

長谷川 均 (部落解放同盟新潟県連合会)

＜プロフィール＞

1977年小千谷支部支部長、1984年新潟県連合会結成に参加し、書記長に就任。同年岩船郡神林村村長相手の差別行政糾弾の訴訟を湯ノ沢支部と闘い抜き、1988年1月26日完全勝利判決実現の中心を担う。1949年生。

特別報告

土地差別調査事件の真相と今後の課題

現在、マンション建設などにかかわって、いわゆるマーケティングリサーチ会社が、部落の所在地や在日外国人集住地域などの情報を、差別表現を用いて広告代理店や開発業者に報告する「土地差別調査事件」について、事件の概要と、今後の運動課題を共有します。

赤井 隆史 (部落解放同盟)

＜プロフィール＞

1985年部落解放同盟大阪府連合会青年部長、1994年同連合会執行委員、2002年部落解放同盟中央本部中央執行委員(現職)、2008年部落解放同盟大阪府連合会書記長(現職)。現在、他に(財)アジア・太平洋人権情報センター企画運営委員、(財)大阪人権博物館(リパティおおさか)理事、(財)大阪国際平和センター(ピースおおさか)運営協力懇談会委員、ニューメディア人権機構理事。

講師紹介

3日目全体集会(11月11日(木))

会場: 朱鷺メッセ「ウェーブマーケット(A)」

特別報告

企業の社会的責任(CSR)の新たな動向 —ISO 26000の発行を控えて—

本年12月に、国際標準化機構の社会責任に関するガイダンス規格(ISO 26000)が発行する予定です。この規格発行によって、人権尊重を含む企業の社会的責任(CSR)に関する環境が大きく変化していくことが予想されます。そこで、ISO規格発行によって求められる取り組みの内容や、今後の課題について、学びます。

関 正雄 (㈱損害保険ジャパン)

＜プロフィール＞

1976年東京大学法学部卒業。同年安田火災海上保険(現・損保ジャパン)入社。システム企画部、社長室、営業開発第一部、近畿総務管理部を経て2003年CSR・環境推進室長に就任。2009年10月から理事CSR総括部長。ISO26000(社会的責任)規格づくりの日本産業界代表エキスパートを務める。

記念講演

足利事件の教訓

足利事件で無罪を勝ち取った菅家さんの経験を伺いながら、自白を強要し、犯人に仕立て上げていく強引な取調べと、刑事司法の問題点を検証しつつ、粘り強く無実を訴え続けたえん罪被害者とその支援運動に学びます。

菅家 利和 (足利事件えん罪被害者)

松本 恵美子 (弁護士、足利事件弁護団)

【足利事件】

1990年5月12日、栃木県足利市内のパチンコ店で当時4歳の女児が行方不明になり、翌日、パチンコ店近くの渡良瀬川河川敷で遺体で発見された。栃木県警は1991年12月、当時のDNA鑑定書を根拠に菅家利和さんに任意同行、深夜に及ぶ尋問の末、犯行を認める「自白」を引出し逮捕。菅家さんは第一審の途中から無罪を主張したが、2000年7月の最高裁判決で刑が確

定した。菅家さんは2002年12月宇都宮地裁に再審を請求、地裁は請求棄却したが即時抗告審で東京高裁は再鑑定を決定、遺留精液と菅家さんのDNA型が一致しないという結果とともに、虚偽の「自白」を強いられたことが明らかになり、再審公判の結果2010年3月、菅家さんに無罪判決が言い渡された。

分科会1 ウェーブマーケット(A) (収容人数2,000人)

入門講座(時事・歴史)

[午前の部：歴史]

□新潟における被差別部落の歴史については、この間の研究によって一定の研究成果がまとめられていますが、その成果を聞く機会はあまりありません。第1分科会の歴史分野の報告では、その新潟県・越後国の被差別部落の歴史について、初心者向けに広く、浅く平易に報告いたします。

講演 新潟県・越後国の部落問題・部落史を概観する

岩片 和義 (新潟県村上市立平林小学校)

[午後の部：時事問題]

- 映画『阿賀に生きる』は、新潟県・阿賀野川のほとりで、川の恵みとともにゆったりと暮らしてきた人々の物語です。
- 阿賀に生まれ、阿賀の流れとともに生活を営んできた彼／彼女らは、新潟水俣病の被害者です。しかし映画は、被害者たちを「いつも苦しみ、差別されるかわいそうな人」としてではなく、自然とともに豊かに生きる人たちとして映し出しています。
- 映画の上映にあたって、阿賀に生きる人びとの魅力や豊かな暮らしを伝える運動を続けている旗野秀人さんから、映画作成の経緯とその後の展開についての解説をいただきます。

イントロダクション 『阿賀に生きる』制作に至るまで

旗野 秀人 (新潟水俣病安田患者の会事務局)

映画上映 『阿賀に生きる』

講演 『阿賀に生きる』その後

旗野 秀人 (新潟水俣病安田患者の会事務局)

分科会2 マリンホール(収容人数540人)

地域主権の動向と人権・同和行政

- 菅直人新総理は、その就任会見で「国民が不幸になる要素、世界の人びとが不幸になることを少なくする『最小不幸社会』をめざすべき」と述べ、さらに経済、財政に社会保障を加えた3つの一体的実現を進めていくという基本方針を打ち出しました。人権の視点に立った政治の推進です。
- 第2分科会では「最小不幸社会」をめざすべく、そのヒントになる理論的な整理と、参考となる事例報告を紹介します。具体的には、
- 自治体財政問題を人権の視点で考えます。
- 人権・同和行政のひとつの事例として、戸籍制度における事前登録型本人通知制度の取り組みを紹介します。
- 雇用問題について、指定管理者制度など自治体のアウトソーシングについて考えていきます。
- 人権の視点に立った指定管理者制度として、隣保館運営を事例に実践報告をしていただきます。

[午前の部]

講演 税財政改革と地域主権

澤井 勝 (奈良女子大学名誉教授)

報告 事前登録型本人通知制度の取り組み

芝野 貞人 (大阪府大阪狭山市)

[午後の部]

講演 自治体アウトソーシングの労働問題

吉村 臨兵 (福井県立大学)

報告 ソーシャルインクルージョンを柱にした隣保館

北芝まちづくり協議会

人権教育と学力保障の総合的な取り組み

－人権教育・啓発に関する基本計画の抜本的充実を

- 人権教育・啓発推進法が制定されて10年。2009年10月、文部科学省「人権教育の推進に関する取組状況調査」結果が公表され、全国的な人権教育の成果と課題が明らかになりました。その調査結果をあらためて確認するとともに、課題克服のための取り組みに学んでいきます。
- 「人権教育の視点から道德教育をいかに進めるか」ということは、理論的にも実践的にも重要な課題です。この点についての学習と実践を深めていきます。
- 上記のような人権教育の取り組みは、同時に「学力保障の土台作り」でもあります。こうした取り組みで一定成果を上げている学校の取り組みに学んでいきます。
- イギリスのシュアスタートの一環である「子どもセンター」は、貧困問題の克服をめざし、就学前の子ども・保護者に対する総合的支援を実施しています。この取り組みを学びます。

[午前の部]

報告 「人権教育の推進に関する取組状況」
結果と今後の課題

- ①行政説明
 - ・人権教育の推進に関する取組状況調査結果について
文部科学省児童生徒課
- ②取り組み報告
 - ・県・市町村・学校を取り結ぶ人権教育の取り組み
福岡県教育委員会
 - ・子どもたちの進路保障をめざすキャリア教育の創造
三重県伊賀市立柘植小学校

[午後の部]

問題提起 「人権教育の視点から道德教育を
考える

- －特設「道德」教育を中心に」
桂 正孝（宝塚大学）

問題提起 「イギリスのシュアスタートと
日本の課題

- －貧困問題と就学前のワンストップ機能」
埋橋 玲子（同志社女子大学）

(助言者) 桂 正孝（宝塚大学）

栗原 成壽（全国人権教育研究協議会）

人権啓発

－これからの学びの理論と方法を考える

- 人権啓発活動が地域や職場で活発に取り組まれるようになってから長い年月が経過します。しかしながら、2002年の法律の失効や各地の自治体において行財政危機を背景として啓発活動も後退を余儀なくされています。また、最近の経済危機もそれに拍車をかけています。
このような時期にあって、啓発活動の理念、計画、実践方法のあり方をめぐって基本的な議論をしていく必要があります。
- 一方で、1995年以降の「国連人権教育10年」、種々の国際的な人権教育の流れ、あるいは批判的教育学の成果などによっておとなの「学び」のあり方についても、理論的な研究や方法論が蓄積されています。
また、政治・経済・社会・文化の動向とメディアが不可欠に結びついて動くという要因もまた啓発の方向性を議論する上で一層重要な要素となってきています。
- 本年は折しも、部落解放・人権研究所でも「新啓発基本方針」策定に向けた研究を開始する年にあたります。そこで、第4分科会では、地域や職域に焦点を当て、種々の実践を積み重ねてきた人びとが集まり、それを交換しつつ、さらに取り組みを発展させる学びの場、フォーラムにしたいと考えます。

[午前の部]

基調講演 新しい啓発基本方針

上杉 孝實（京都大学名誉教授、部落解放・人権研究所理事）

[午後の部]

[報告とパネルディスカッション]

 これからの人権啓発の課題
～部落問題学習を通して

報告 部落問題は「埋没」しているのか

浦本 誉至史（部落解放同盟東京都連合会）

報告 企業研修で対話型の実践

竹内 良（東京人権啓発企業連絡会）

報告 地域教材から全国に発信

～絵本『ひらがなにっき』

鶴岡 弘美（部落解放同盟大阪府連合会）

報告 新潟県における人権啓発の取り組みに
ついて

高山 弘（新潟県人権・同和センター事務局長）

報告 生涯学習から地域教育改革へ

相庭 和彦（新潟大学）

狭山事件と司法民主化

- 三者協議、開示勧告、証拠開示という狭山第3次再審の動きについての報告を聞きます。
- えん罪・狭山事件の真相、石川一雄さんの無実の証拠、第3次再審請求で弁護団が訴えている内容を学習し、狭山事件の再審をひらくための取り組みを考えます。
- 狭山事件、足利事件、氷見事件、志布志事件などの冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法、メディア等の問題点を明らかにし、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。
- 裁判員制度のもとで、誤判・冤罪を防止するために、今後どのような改革が必要かを考えます。
- 代用監獄や人質司法などの問題点を考え、取調べの可視化、証拠開示の公正なルールの確立など、誤判・冤罪をなくすための司法制度改革のあり方、今後の課題について考えます。
- 国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の司法制度に学び、日本における司法改革の課題を考えます。

[午前の部]

上映 テレビ朝日「ドキュメンタリ宣言」

報告 狭山第3次再審請求

石川 一雄 (狭山事件再審請求人)

報告 狭山第3次再審請求

中山 武敏 (狭山事件再審弁護団)

[午後の部]

シンポジウム 冤罪をなくすために

- 〈パネラー〉 中山 武敏 (狭山事件再審弁護団)
 鯉越 溢弘 (新潟大学教授)
 菅家 利和 (足利事件えん罪被害者)
 柳原 浩 (富山冤罪事件国賠原告)
 武田 佐俊 (志布志・住民の人権を考える会)
 石川 一雄 (狭山事件再審請求人)

(司 会) 小野寺 一規 (部落解放同盟)

(助言者) 片岡 明幸 (部落解放同盟)

部落差別の実態と糾弾闘争の課題

- 差別事件の取り組みを通して、部落差別の実態と差別事件の今日の特徴を明らかにします。
- ネット上の差別事件の実態と今後の対応について考えます。
- 差別意識のあり方や捉え方についての議論を通して、今後の差別事件糾弾闘争の実践的課題を明らかにします。
- 「人権侵害救済法」制定の取り組みとあわせて、差別糾弾闘争のあり方と人権政策確立に向けた法制度・施策を検討します。

報告 グーグルマップと古地図表記への取り組み

部落解放同盟東京都連合会

報告 グーグルマップと部落差別

部落解放同盟鳥取県連合会

報告 結婚差別事件の取り組み

部落解放同盟山口県連合会

報告 新潟における差別事件の取り組み

部落解放同盟新潟県連合会

(司 会) 山崎 鈴子 (部落解放同盟)

(助言者) 北口 末広 (部落解放同盟)

国際人権諸条約の経験から人権侵害救済法を考える

- 障害者権利条約の批准に向けた検討において、人権侵害の救済制度がどのように位置づけられているか、その動向を学びます。
- また、人種差別撤廃条約の国家報告審査において、差別事件の救済に関してどのような指摘をうけてきたかを検討します。
- これらの動向を踏まえて、人権侵害救済法制定に向けた展望と課題を検討します。

[午前の部]

講演 障害者権利条約と人権侵害救済法

金 政玉 (DPI日本会議)

[午後の部]

パネル討論 人権侵害救済の法制度の確立へ

- 〈パネラー〉 金 政玉 (DPI日本会議)
 組坂 繁之 (部落解放同盟)
 和田 献一 (部落解放同盟)
 〈コーディネーター〉 谷元 昭信 (部落解放同盟)

フィールドワーク 11月10日(水) (※佐渡コースは11月9日(火))から

コース1 佐渡コース (定員135人)

佐渡の部落の歴史と芸能との出会いの旅

参加費	集合時間	集合場所
19,000円(9日宿泊費・10日昼食含む)	11月9日(火) 15:30	佐渡汽船新潟港フェリー乗船口

11月 9日(火) 〈1日目〉	新潟港 ~~~~~ 両津港 ===== 湖畔の宿 吉田家 16:00 ① 18:30 19:00 ② ①フェリー内事前学習 ②交流会 伝統芸能 春駒(上演と解説)
11月10日(水) 〈2日目〉	湖畔の宿 吉田家 ===== 長谷寺 ===== 佐和田現地学習 ===== 佐渡歴史伝説館(昼食) ===== ①8:00事前学習 9:10 9:40 10:50 11:50 12:40 ===== ゴールデン佐渡 ===== 博物館(遊女展示を中心に) ===== 両津港 ~~~~~ 新潟港 13:10 14:00 14:10 15:20 16:05 18:35 ①講師：沖浦 和光さん(桃山学院大学名誉教授)

※佐渡コースは船が16時出航となりますので1日目全体会の途中(15時頃)会場を出発することになりますのでご注意ください。
(佐渡汽船まで約5~6分)

ガイド

浜野 浩さん(佐渡市世界遺産推進課)／沖浦 和光さん(桃山学院大学名誉教授)／高山 弘さん(新潟県人権・同和センター事務局長)

コース2 新潟水俣病コース (定員50人)

新潟県立環境と人間のふれあい館(新潟水俣病資料館)の見学

参加費	集合時間	集合場所
5,000円(昼食含む)	8:15	朱鷺メッセ

朱鷺メッセ ===== 鹿瀬発電所 ===== 旧昭和電工鹿瀬工場裏高台 ===== 龍蔵寺 ===== 旧昭和電工鹿瀬工場排水口 ===== 8:30 9:50 10:10 10:40 11:00 ===== 新潟水俣病資料館(昼食) ===== 朱鷺メッセ 12:40 16:30

資料館語り部

小武 節子さん(新潟水俣病被害者の会会長)
近 四喜男さん(新潟水俣病被害者の会幹事)

ガイド

高野 秀男さん(部落解放同盟新潟県共闘会議事務局長)
有田 純也さん(部落解放同盟新潟県共闘会議事務局次長)

新潟県立 環境と人間のふれあい館

1995(平成7)年12月の新潟水俣病被害者の会・共闘会議と昭和電工との解決協定締結を契機に建設されました。この施設では、水俣病のような悲惨な公害を繰り返してはならないという決意のもと、新潟水俣病の経験と教訓を後世に伝えるとともに、水の視点から環境を大切にする意識を育み、公害の根絶と環境保全の重要性を認識していただきたいと思います。

コース3 神林村コース (定員45人)

神林村差別行政批判勝利20周年記念

参加費	集合時間	集合場所
5,000円(昼食含む)	8:15	朱鷺メッセ

朱鷺メッセ ===== 村上市A地区視察 ===== 村上市B地区視察 ===== イヨボヤ会館(昼食) ===== 学習会 ===== 朱鷺メッセ 8:30 18:00
--

日本最初の鮭の博物館 イヨボヤ会館

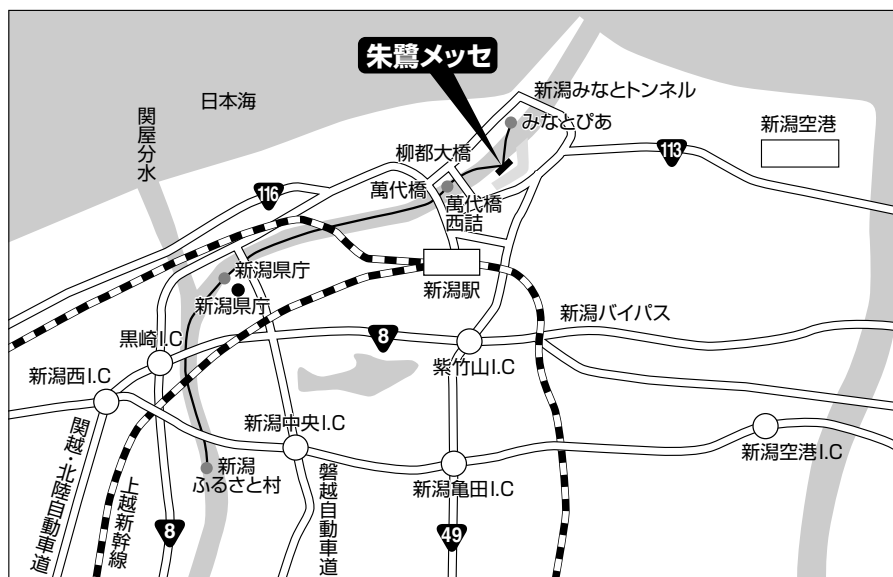
切妻造りのイヨボヤ会館は、3階建てで半地下構造の地階には、人工河川を真横から眺められる生態観察室があります。1階には、鮭の漁法や漁具、サケの天然増殖をすすめた「種川の制」の歴史や明治時代以降普及した人口ふ化の方法がパネルで展示されています。2階はサケについてコンピューターゲームで楽しく遊べる「子どもさかな科学館」があります。3階には展望

室があり、サケが遡上する三面川やサーモンパークの眺望を楽しむことができます。

学習会

- ・ 県北地区の被差別部落の歴史と課題
— 神林村差別糾弾闘争の完全勝利と課題 —
- ・ 鮭文化の歴史 村上市

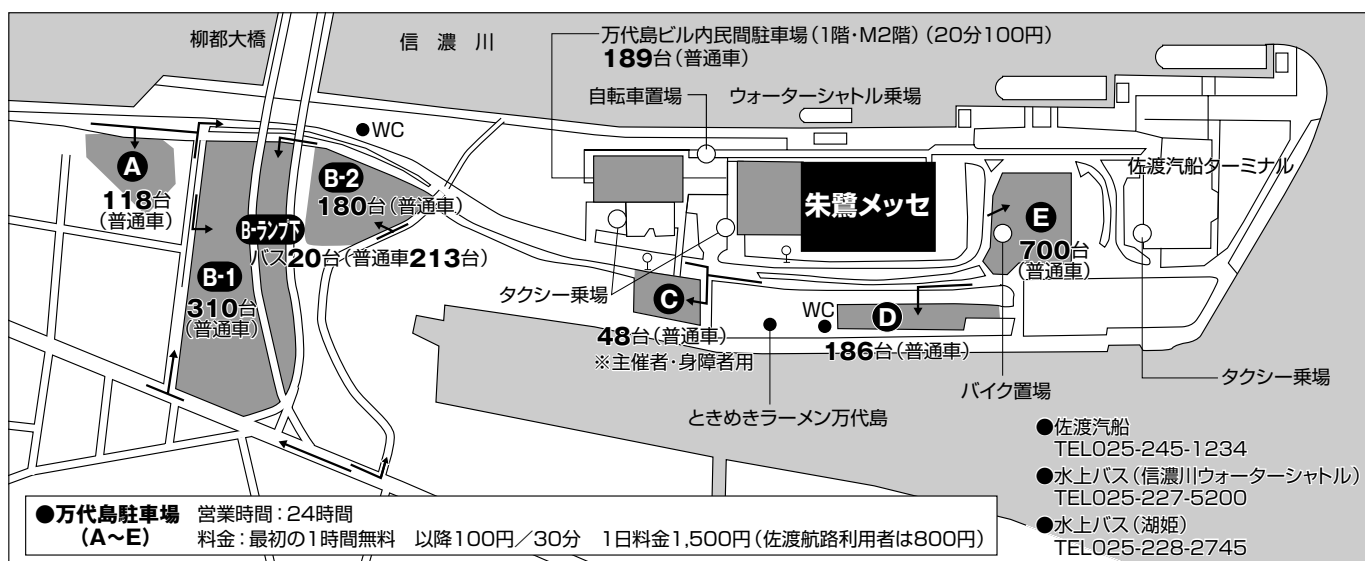
会場案内図



■朱鷺メッセ 周辺詳細



■朱鷺メッセ 周辺案内



■新潟へのアクセス

◎鉄 道

東京方面から 新幹線 (上越)：約1時間40分 / 名古屋方面から 新幹線 (東海道・上越)：約3時間40分
大阪方面から ①新幹線 (東海道・上越)：約5時間 ②在来線 (東海道本線・北陸本線金沢経由特急)：約6時間40分

◎車 (高速道路)

東京方面から 北陸・関越自動車道：約3時間40分 / 名古屋方面から 上信越・北陸自動車道：約6時間
大阪方面から 名神・北陸自動車道：約8時間

◎高速バス

東京 (池袋サンシャイン)：1日6便 (約5時間)、大阪 (阪急梅田)：1日1便 (約9時間30分)、仙台 (駅東口)：1日4便 (約4時間)、
山形 (山交ビル)：1日2便 (約3時間45分)、会津若松 (駅前)：1日4便 (約1時間45分)、長野 (駅前)：1日2便 (約3時間30分)、
金沢 (駅前)：1日2便 (約5時間)

◎飛行機

名古屋空港から：航空路約1時間 / 大阪空港から：航空路約1時間 / 福岡空港から：航空路約1時間30分

■新潟駅から朱鷺メッセまでのアクセス

◎バ ス

JR新潟駅万代口バスターミナルより15分 (新潟交通17系統「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」バス、「朱鷺メッセ前」下車)

◎タクシー

JR新潟駅万代口から5分

◎徒 歩

JR新潟駅万代口から20分